

～交通事故シラズの吉田町にしよう～

発行：吉田町役場防災課 地域安全部門

電話：３３－２１３４

令和６年８月発行

※静岡県警察より情報提供を受けて発行しております。

交通安全情報

気温上昇！

がまんは禁物
だワン！

エアコンを
使用して、快適な
車内温度を保つ
ワンっ！



体調管理に気をつけて

運転中に身体の異変を感じたら

気温が高くなると、暑さからくる集中力の欠如、疲労などを原因とする交通事故が懸念されます。

また、運転中に熱中症を発症すると重大な事故につながる危険性があります。

体調がすぐれない時には、運転や外出を控えるなど、交通事故防止に努めましょう。

何かおかしいと、感じたら

胸の痛み・頭痛・手足の痺れや不自由・胸焼けのような上腹部の不快感や吐き気など

病気の
前兆かも

すぐに安全な場所へ車を止めましょう

停車後、サイドブレーキを掛け、ハザードランプを点灯する等の安全措置を取り、事故防止に努めましょう。

症状が改善しない場合は

- ・救急車を呼ぶ
- ・周りの人に助けを求める（窓を開けて手を振る等）

など、早めの救急対応を取りましょう。



暑さ指数と熱中症

暑さ指数（WBGT）とは、熱中症に関連する、気温、湿度、日射等の要素を取り入れた指標であり、熱中症予防の目安として用いられています。

最新情報は環境省のホームページ等を確認して下さい

暑さ指数（WBGT）		日常生活における注意事項	
31℃～	危険	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動。	車内でも熱中症の危険があります！
28～31℃	厳重警戒	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	
25～28℃	警戒	運動や激しい作業をする際は、定期的に十分な休息を取り入れる。	運動・作業後は休息が必要です！
21～25℃	注意	運動や重労働時には発生する危険性がある。	

お子さまを車内に残したまま車を離れることは、大変危険な行為です！